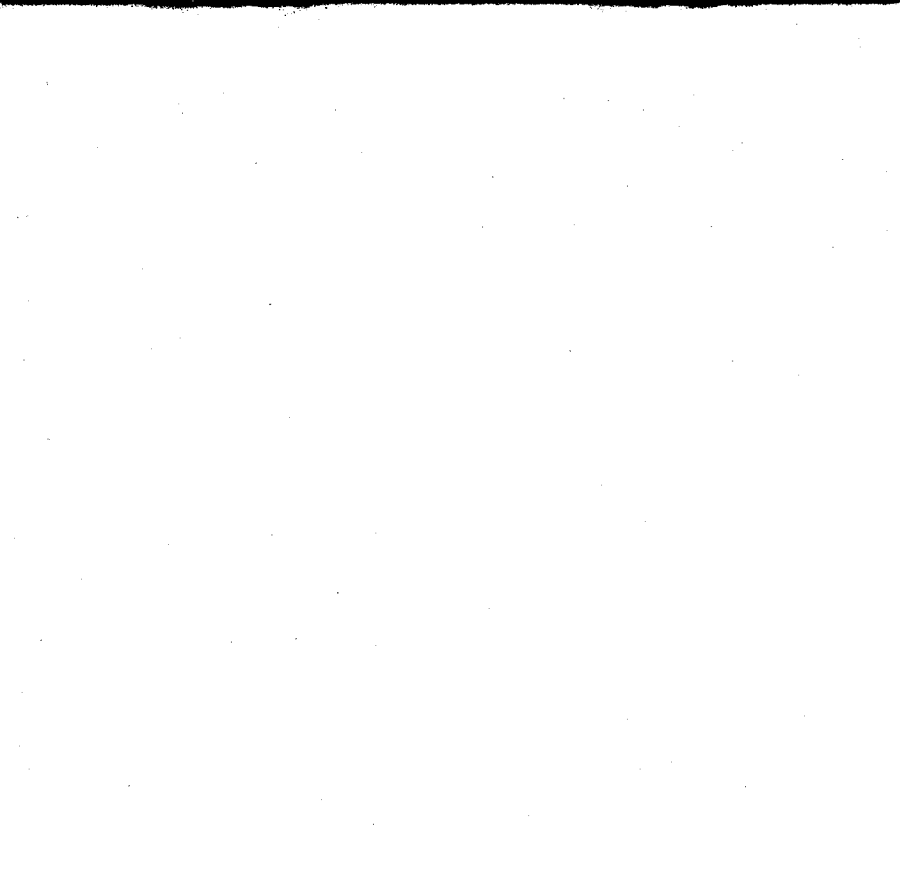




# DYNAMIC DIGITAL RECORDING by DAM





# DYNAMIC DIGITAL RECORDING by DAM

T.NO.

- |      |                                                                   |        |
|------|-------------------------------------------------------------------|--------|
| [1]  | DAMのファンファーレ                                                       | 0'33"  |
| [2]  | 剣の舞 (A. Khachaturian作曲)                                           | 2'22"  |
| [3]  | さまよえるオランダ人 序曲 (R. Wagner作曲)                                       | 11'11" |
| [4]  | ジークフリートの葬送行進曲 ー楽劇「神がみのたそがれ」より (R. Wagner作曲)                       | 7'44"  |
| [5]  | アツビア街道の松ー「ローマの松」より (O. Respighi作曲)                                | 3'23"  |
| [6]  | ゆかいなうた                                                            | 2'50"  |
| [7]  | 絵かきうた                                                             | 1'50"  |
|      | 合唱のためのコンポジション<br>第4番「子供の鎮分」より (間宮芳生作曲)                            |        |
| [8]  | 白い道 (A. Vivaldi作曲/早川正昭編曲)                                         | 3'54"  |
| [9]  | EXPLORE (探究) (John KAIZAN Neptune 作曲)                             | 5'38"  |
| [10] | LOVE FOR SALE (C. Porter作曲/N. Pierce編曲)                           | 4'33"  |
| [11] | HERE THERE AND EVERYWHERE (P. McCartney-J. Lennon作詩・作曲 J. Oddo編曲) | 4'54"  |
| [12] | いそしぎ (P. Webster-J. Mandel作詩・作曲/直居隆雄編曲)                           | 3'44"  |

## 制作にあたって

---

日頃は第一家電をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

コンパクト・ディスクも発売以来、1年を経過し、この秋、10万円前後の第2世代のコンパクト・ディスク・プレーヤーが各社から一斉に発売され、話題となっております。

しかし、ソフト自体は、まだまだ種類が少なく、かつどこでも入手できる状態にはなっていないようです。そこで、当社といたしましては、会員の皆様に、バラエティに富んだ、DAMオリジナルCDをお届けするべく制作いたしました。

DAMでは、DAM45（オリジナル45回転オーディオ・チェック・レコード・シリーズ）のために、5年前、山本剛トリオ+鈴木勲「サマータイム PCM vs ダイレクト」で、デジタル録音に着手し、以後、オリジナル録音の度に、デジタルとアナログ両方の録音を実施しております。DAMとしては、録音方式にこだわらず、結果の良いものを、DAM45に採用してきたわけですが、DAM初（勿論、販売店として初めてのことでしょう）のオリジナルCD制作にあたり、その蓄積されたデジタル音源の中から、毎回の代表作をピック・アップして収録いたしました。コンパクト・ディスクの特長を生かすため100%デジタル音源を使用しております。（なお、最初のデジタル録音の「サマータイム」は、デジタル・プロセッサが現存しないため、再生ができず、今回収録はされていません。）

CDの特長としては、コンパクトで、連続長時間再生が可能で、ランダム・アクセスができる等の簡便性、S/Nが良い、Dレンジが広い、クリアーでシャープなこと、内周歪が無い等の、符号で録音されるデジタルならで

---

はの原理的な良さがあげられます。

今回、「DAMのファンファーレ」に始まって全12曲(約55分)が、7枚のDAM45からの抜粋で収録されています。特に、9曲目のパーカッションの驚異的なダイナミック・レンジの広さは、CDならではの聴きものといえましょう。12曲目の「いそしぎ」も非常に雰囲気良く仕上がっており、又その他の曲も、四種類のデジタル録音機の違い、録音場所の違い等、オーディオ・マニアの方にも興味がつきないチェック・ポイントではないかと思えます。

なお、なにぶんにも、アナログに比べ歴史の浅い、デジタル録音のこととて、まだまだ充分でない点があるかと思いますが、今後、その録音機材、録音方法等、ノウハウを蓄積し、より高度なものを完成するべく努力する所存です。

又、今回のCDについては、マニアの方のために、録音データーを全て記載してありますが、8曲目の「白い道」を除いて、全てDAM45に収録されています。もしバックナンバーをお持ちでない方は、一部、在庫がありますので、御希望の方は、入手方法等を、各店にお問い合わせください。

今回、本CDの制作にあたり、アーティストの方々、東芝EMI(株)、関係各位に多大な御協力をいただき、ここに厚くお礼申し上げます。

最後に、今後、デジタル録音及びそのCD化にも、研究・努力をし、会員の皆様に満足をしていただけるソフトの開発をする所存ですので、よろしく御支援のほど、お願い申し上げます。

**DAM推進委員会**

## DAMデジタル録音に立合って

---

DAM初のデジタル・レコーディング「山本剛トリオ」(今回未収録)を制作してから早5年。当時はC社のPCMレコーディングが先行、当社ではもちろん最初のデジタル録音、非常に情報量の少ない状態でスタート。C社のPCM名称の許諾からPCM録音の録り方等すべて初ものづくめ、まして2chの一発録り、というプレッシャーが通常の数倍に達し、その上オーレックスPCMプロセッサMKIという、まだ市販される前の状態でのレコーディングでは、今考えてもゾーとするなかでの製作でした。'80春「ローマの松」については、ジョイフル・コンサートと名を打ってのライブ録音。絶対失敗の出来ない状態でのプレッシャー、国内クラシック初録音、このCDではDAM45と違ったデジタル・バージョン使用。'80秋には、当社専属であった弘田三枝子が登場し、DAM初フュージョン・レコーディング、実力女性ボーカリストによる素晴らしい出来になった自信作。'81春は石橋メモリアルホールに於いて、早川正昭と新ウィヴァルディ合奏団と荒川少年少女合唱隊のライブ・レコーディング、この時は舞台監督まで兼ね、本番を終った時は全スタッフ共気が抜けた様にまでなりました。秋には東ドイツのライブツィヒ放送吹奏楽団をジャパンアーツの協力を得、石橋メモリアルホールにてワンポイント・デジタル録音することが出来ました。この時からPCMプロセッサSONY1610を使用し、デジタル録音の安定化を計ることが出来る様になりました。'82春はジョン海山ネプチューンとパーカッション奏者吉原すみれに登場してもらい、Dレンジの追求をし、パルシブな音をどこまで再現することが出来るか! '83春はドイツの名指揮者ホルスト・シュタインとNHK交響楽団の登場。以前から実現したかったワーグナー、それにワーグナーをふったら世界的なH.シュタイン、日本最高のN響と3拍子揃ったこの顔ぶれは五反田の簡易保険ホールにて収

---

録、全員が大ノリ。クラシックには不釣合いな言葉のノッタ演奏でした。  
又最新作のアンリ菅野は、現在、女性ジャズ・ボーカリストとして人気実  
力共かねた期待のアーティストを、最新のSONY24デジタルマルチと当社  
最新の第3スタジオを使用し収録。常に新しいものに挑戦する皆の気持ちが  
結集され、また、新たなものにチャレンジする心が芽ばえるのは私だけで  
は決してない。常に録音を担当した渡部チーフミキサー、池田チーフミキ  
サーのサウンドに対する理解、それ以上にDAMスタッフの理解がこの様  
ないろんなジャンルの作品を作る上で非常に大きな柱になりました。この  
経験をベースとして更に今後の制作をしていきたいと思います。

東芝EMI第II営業部企画編成課 小山正敏



剣の舞デジタル45(1981年11月)より

ライブツィヒ放送吹奏楽団

指揮：クラウス・ヴィーゼ

### ■DAMのファンファーレ

「ファンファーレ」を岩波国語辞典でひけば「太鼓・トランペットなどを用いた、はなやかで勇ましい、短い楽曲」とあるが、まさにこれぞファンファーレといった感じの壮麗な曲。作曲者クリストフ・ライヒェルトはなにをかくそう、このバンド・メンバーの一人(トランペット)。「何かファンファーレみたいなもの1曲欲しいなあ」とのディレクターの言葉に、「じゃ作曲してあげるよ」と二つ返事。滞在中のホテルの一室で出来あがった新作だ。つまり世界初演・初録音というわけ。

### ■剣の舞

ソヴィエトの作曲家アラム・ハチャトゥリアン(1903～1978)の作曲によるバレエ音楽の一場面。禍い転じて福と成し、主役男女が結ばれる大詰の結婚式。2人を祝ってソヴィエト各地の民族色豊かな踊りが踊られるが、その中のひとつがこれ。黒海に近いクルド族の出陣の踊り。勇壮な中にもアルメニア人ハチャトゥリアンならではの東洋的な色彩が感じられる。1942年作。

ワルキューレの騎行 76/45(1983年6月)より

NHK交響楽団

指揮：ホルスト・シュタイン

### ■歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

北欧伝説、ハイネの小説に材をとり、ワーグナー自身が台本を作成。



神を冒瀆したために永遠に海をさまよう運命を負ったオランダ船の船長は、7年に1度だけ上陸のチャンスが与えられる。その時に一生の愛を誓える女性と逢えれば、船長の呪いは解かれるのだが……。序曲はホルン、ファゴットによる《オランダ人の動機》、イングリッシュ・ホルンによる《救済の動機》を軸とした、暗く荒れた海のような悲劇的な音楽。

## ■ジークフリートの葬送行進曲 楽劇「神がみのたそがれ」より

着想から完成まで20年余りをかけて作られた舞台祭典劇「ニーベルングの指環」は、「ラインの黄金」「ワルキューレ」「ジークフリート」「神がみのたそがれ」の4つの楽劇（それぞれの上演に一晩ずつあてられる）から成る長大なもので、ワーグナーにとって、のみならずゲルマン文化総てを集大成した芸術作品。

題材は中世ドイツの叙事詩を骨格に、伝承的な神話・伝説を盛り込んだワーグナー自身の手になるもの。《力》の象徴としての黄金の指環をめぐって、天上の神、地上の巨人、地下の小人族が争い、神々時代の終焉に至るという大筋の中に、仇討ちあり、ロマンスあり、呪いあり、兄妹の近親相姦あり、大蛇まであって……という一大スペクタクルになっている。

ジークフリートは怪力の美丈夫だったが、悪略にあい急所（背中です。念のため）を狙われ、あえなく斃れてしまう。遺骸を運ぶ行列の場面に奏される「葬送行進曲」は、悲痛な中にも巨大な力を秘めている。

ローマの松76/45(1980年6月)より

日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮：岩城宏之

## ■第4部「アッピア街道の松」

古代ローマ軍の進軍道路として紀元前三世紀に造られたアッピア街道は

今も往時の面影を残しているが、このアッピア街道を進軍するローマ軍の力強い足音を表わすティンパニーで始まる。次第に音量を増し、栄光に満ちた古代ローマを讃えるように壮麗な全強奏に突入するが、多種の打楽器やパイプ・オルガンを加えたフル・オーケストラの最強奏はカートリッジのトレース性能の細心のチェックが要求されるところである。低域、高域の周波数特性はもとより、金管楽器群のスケール感の大きな響きからホールの空間の広さを感じとれるかもチェック・ポイントである。

交響詩「ローマの松」は、松に因んだ旧蹟を4ヶ所選び、そこにまつわる歴史に想いを寄せた音楽で、最後のアッピア街道の松で、レスピーギは古代へと想いをはせる。ローマ中心部からナポリへと通ずるこの道は、古代からの幹線道路であった。低音の刻むリズムが、朝靄の中から近づく古代ローマ軍の行進を描く。音楽は次第に接近し、古代ラッパ（普通トランペットで代用、今回はホルネット使用）も遠方から聴こえてくる。さらにはオルガンも加わり、勇壮な凱旋の行進は圧倒的なクライマックスを迎える。

ミッシェル76/45(1981年6月)より

合唱：東京荒川少年少女合唱隊

指揮：渡邊顯磨

合唱のためのコンポジション第4番「子供の領分」より

### ■ ゆかいなうた ■ 絵かきうた

二千数百曲にものはる今日の東京のわらべうたの資料を素材として、子供の合唱とオーケストラのためのコンチェルトとして書かれている（今日は、そのうち冒頭の部分をア・カペラで演奏します）。自分たちのまわりにある、あらゆるものを遊びの中にとり込み、生活のうたとしている子供のバイタリティーそのものが、この曲のテーマとなっている。

## ■白い道

演奏：新ヴィヴァルディ合奏団

指揮：早川正昭

合唱：東京荒川少年少女合唱隊

ヴィヴァルディ作曲 合奏協奏曲「四季」から「冬」の第2楽章の部分を南安雄氏が合唱曲用に編曲し、更に新ヴィヴァルディ合奏団の早川正昭氏が弦楽合奏の伴奏を付けた曲に編曲したものです。

作詩は海野洋司氏です。

ジョン海山ネプチューン・デジタル45(1982年6月)より

尺八：ジョン 海山 ネプチューン

パーカッション：吉原すみれ

## ■探究(EXPLORE)

ジョン海山ネプチューンと吉原すみれが即興演奏で創り出した音世界。

ジョンはこの演奏について“この曲の基本ラインとして、イントロ、尺八のメロディそしてパーカッションとの掛け合い等進行の打合せはしました。しかし演奏者は、自由にそして自然のフィーリングで演奏しました。あたかも2人がサウンドを通じて宇宙を探究するように”と語っている。

アンリ菅野デジタル45(1983年11月)より

歌：アンリ菅野

### ■LOVE FOR SALE

数多くの名曲を残したコール・ポーターの傑作のひとつ。1930年の12月8日に初演されてから168回も上演されたというブロードウェイ・ミュージカル“ザ・ニューヨーカーズ”のナンバーで、キャサリン・クロフォード、ジェーン・シェイファーらが歌った。

ちょっと聴くと楽しげな恋の歌のようだが、実は街頭に立って男を誘い、ひとときの恋を売る哀しい女の歌。かなりストレートな歌詞であるため当時のラジオでは放送禁止になったという。

### ■HERE THERE AND EVERYWHERE

ご存知ビートルズのポール・マッカートニー、ジョン・レノンのコンビによる美しいバラッド。“リボルバー”に収められていた原曲は、ポール・マッカートニーのダブル・レコーディングによる甘いボーカルが印象的だった。

僕の愛しい人がそばに必要なんだ。どんな場所でも、どんな処でも、いつも2人は一緒にいたい……、と歌うラヴ・ソング。

弘田三枝子76/45(1980年11月)より

演奏：ニュー・ウェイヴ・バンド

歌：弘田三枝子

### ■いそしぎ(The Shadow Of Your Smile)

ジョニー・マンデルとポール・フランシス・ウェブスターがペンをとっ

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが  
PDFでは省略させていただきました。

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが  
PDFでは省略させていただきました。

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが  
PDFでは省略させていただきました。

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが  
PDFでは省略させていただきました。





## 録音データ

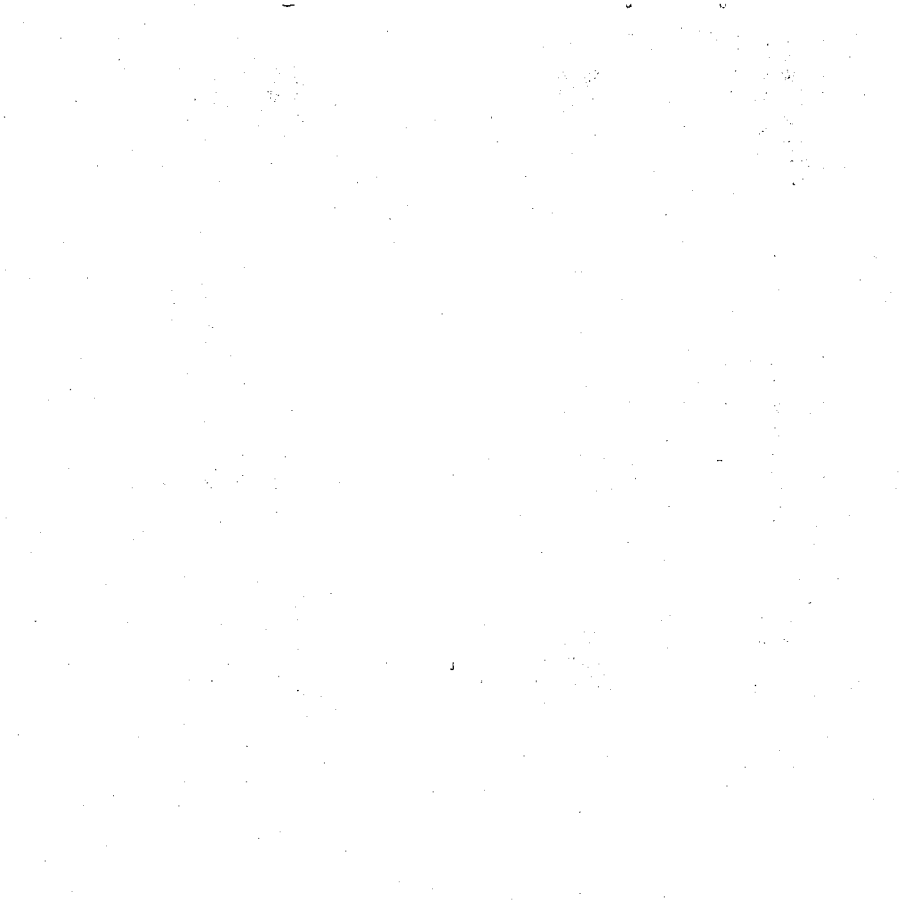
| No. | タ イ ト ル       | ス タ ッ フ                  |
|-----|---------------|--------------------------|
| 1   | DAMのファンファーレ   | ディレクター・中田基彦<br>ミキサー・池田 彰 |
| 2   | 剣の舞           | 〃                        |
| 3   | さまよえるオランダ人 序曲 | 〃                        |
| 4   | ジークフリートの葬送行進曲 | 〃                        |
| 5   | アッピア街道の松      | 〃                        |
| 6   | ゆかいなうた        | 〃                        |

| 録 音 場 所        | 日 時         | 調 整 卓         | デジタル<br>プロセッサー     |
|----------------|-------------|---------------|--------------------|
| 石橋メモリアル<br>ホール | '81.8.27    | STUDER<br>089 | SONY<br>PCM-1610   |
| 〃              | 〃           | 〃             | 〃                  |
| 五反田<br>簡易保険ホール | '83.2.26～27 | 〃             | 〃                  |
| 〃              | 〃           | 〃             | 〃                  |
| 習志野<br>文化ホール   | '80.4.5     | 〃             | AUREX<br>PCM-MK II |
| 石橋メモリアル<br>ホール | '81.4.29    | 〃             | 〃                  |

# 録音データ

| NO. | タ イ ト ル                      | ス タ ッ フ                   |
|-----|------------------------------|---------------------------|
| 7   | 絵かきうた                        | ディレクター・中田基彦<br>ミキサー・池田 彰  |
| 8   | 白い道                          | 〃                         |
| 9   | EXPLORE(探究)                  | ディレクター・小山正敏<br>ミキサー・渡部喜久  |
| 10  | LOVE FOR SALE                | ディレクター・菊地洋一郎<br>ミキサー・渡部喜久 |
| 11  | HERE THERE<br>AND EVERYWHERE | 〃                         |
| 12  | いそしぎ                         | ディレクター・重実 博<br>ミキサー・渡部喜久  |

| 録音場所            | 日時          | 調整卓           | デジタル<br>プロセッサー                       |
|-----------------|-------------|---------------|--------------------------------------|
| 石橋メモリアル<br>ホール  | '81.4.29    | STUDER<br>089 | AUREX<br>PCM-MK II                   |
| 〃               | 〃           | 〃             | 〃                                    |
| 東芝EMI<br>第1スタジオ | '82.4.8~9   | API CUSTUM    | SONY<br>PCM-1610                     |
| 東芝EMI<br>第3スタジオ | '83.3.7~15  | NEVE 8078     | SONY<br>PCM-3324<br>SONY<br>PCM-1610 |
| 〃               | 〃           | 〃             | 〃                                    |
| 東芝EMI<br>第1スタジオ | '80.9.22~23 | API CUSTUM    | AUREX<br>PCM-MK II                   |



**コ**ンパクト・ディスクは、現代の最先端を行くデジタル技術レコードの世界に生きた画期的な性能を持つ新しいオーディオ・システムです。音質は非常に忠実度が高く、雑音は殆どなく、澄んだ迫力のある音を楽しむ事ができます。それは記録再生の方式が従来のアナログ方式とは全く異なっているからです。

**従**来のレコードは音の振動そのままを直接溝に刻み込んでいました。しかしC.D.では音楽信号を微細に分解し、それをコンピューター等で使う符号に置きかえて記録します。音は空気振動の波ですが、それをマイク等で電気信号の波にかえます。その波を一秒間に44,100に分解し、そのひとつひとつの大きさを約65,000の段階で表わします。この様にすると音楽信号はすべて数字で言い表わせる事になります。その数字を0から1だけの2進法に置きかえて、ディスク表面に信号のあるなしを表わすハルス符号として記録します。これがPCM方式です。この様に細かく分解しますと、人間の耳では全く分解した事は感知できません。美しいカラー写真を顕微鏡で見ると、細かい点からなり立っているのと同じです。再生には針を使わずに細いレーザー光線をあてて符号を読みとり、再び元の波形を組み立てる訳です。従って再生時はディスクの表面に全く非接触なので、その寿命は半永久的とも言えます。この様にデジタル方式ですと実際に記録されるのはあるかないかの符号だけです。たとえ記録符号が歪んだりしてもあるなしだけ判別できれば、全く影響な

く完全な元の音が組み立てられます。つまり記録再生時の音に対する影響が大変に少なく、マスター・テープそのままの音が忠実に再生されます。

**こ**のC.D.はプロ用デジタル録音システムとほぼ同等の素晴らしい規格を持っています。記録信号は16ビットで、音の大小の幅を表わすダイナミック・レンジは90dB以上と従来より大幅に広がりました。ホールで生きた生のオーケストラは約100dB程といえますから、ほぼ生に近い迫力を再生できる事になります。もちろんビチパチと言った針による雑音は全くありませんし、SN比は従来より著しく向上、雑音は殆どきこえません。音のユレを生じるワウ・フラッター(回転ムラ等)は測定できない程少なくなりました。左右の音が混じりあってしまうクロス・トークは全くと言っていい程ありません。そして音を汚す歪も従来より一桁少ない0.05%以下となり大変に澄んだ美しい音が再生できる様になりました。

**こ**のディスクの信号面は保護膜におおわれており直接外から触れる事はできませんが、レーベルの反対側の光った面からレーザー光線を当てて、符号を読みとりますので、その面に汚れや傷をなるべくつけない様ご注意ください。もし汚れがついてしまった場合は柔らかい布で軽く拭きとって下さい。油等しつこい汚れの場合はエチルアルコールで拭きますときれいにとれます。表面が濡れている場合は乾いた布で拭いて下さい。従来のLP用スプレーやクリーナーはご使用にならないで下さい。

1. DAMのファンファーレ ● 剣の舞デジタル45 <1981年11月・DOR-0100>
2. 剣の舞 ● 剣の舞デジタル45 <1981年11月・DOR-0100>
3. 「さまよえるオランダ人」序曲 ● ワルキューレの騎行76/45 <1983年6月・DOR-0120>
4. ジークフリートの葬送行進曲 - 楽劇「神がみのたそがれ」より ● ワルキューレの騎行76/45 <1983年6月・DOR-0120>
5. アッピア街道の松 - 「ローマの松」より ● ローマの松76/45 <1980年6月・DOR-0078>
6. ゆかいなうた - 合唱のためのコンポジション第4番「子供の領分」より ● ミッシェル76/45 <1981年6月・DOR-0092>
7. 絵かきうた - 合唱のためのコンポジション第4番「子供の領分」より ● ミッシェル76/45 <1981年6月・DOR-0092>
8. 白い道 ● ミッシェル76/45 <1981年6月・DOR-0092>
9. EXPLORE (探究) ● ジョン海山ネプチューン・デジタル45 <1982年6月・DOR-0114>
10. LOVE FOR SALE ● アンリ菅野デジタル45 <1983年11月・DOR-0122>
11. HERE THERE AND EVERYWHERE ● アンリ菅野デジタル45 <1983年11月・DOR-0122>
12. いそしぎ ● 弘田三枝子76/45 <1980年11月・DOR-0086>

Various Artists - Audio Members Club

**DAM**

企画・制作：第一家庭電器株式会社

製造：東芝EMI株式会社